










表紙共14枚

健軍130号建物内部改修工事

総務科長

--

表紙名		健軍130号建物内部改修工事							図面番号	1/14
業務隊長	管理科長	営繕班長	給排水係長	電気係長	管財係	施設管理	作成年月日	R7.4.25	作成者	
										
所属	陸上自衛隊健軍駐屯地業務隊管理科									

仕 様 書

- 1 工事件名
健康130号建物内部改修工事
- 2 工事場所
熊本県東区東町1-1-1 陸上自衛隊 健康駐屯地
- 3 工事概要
(1) 既存倉庫を洗濯室及び乾燥室に換装 1箇所
(2) 洗濯室に洗濯機・パンプス基新設
(3) アルミペーテイション間仕切新設 1箇所
(4) 物干用金物新設 1式
(5) 給排水設備及び電気設備新設 一式
- 4 一般事項
(1) 本仕様書及び図面に記載なき事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の次の仕様書によるものとする。
ア 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）
イ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「標準仕様書」という。）
ウ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版（以下「電気改修標準仕様書」という。）
エ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版（以下「電気標準仕様書」という。）
オ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版（以下「機械標準仕様書」という。）
カ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版（以下「機械改修標準仕様書」という。）
キ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版（以下「機械標準仕様書」という。）
ク 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版（以下「機械改修標準仕様書」という。）
ケ 防衛省制定 土木工事共通仕様書（以下「土木工事仕様書」という。）
(2) 本工事にあつては関係法令規則を遵守し、誠実にを行うものとし、特殊な工法等の施工にあつては、専門工事業者の定めにより実施するものとする。
(3) 本工事に使用する材料は新品とし、監督官の検査を受け合格した材料を使用するものとする。
(4) 本工事に写真はカメラ（カラー）又はデジタルカメラを使用し、施工前、施工中、施工後及び監督官が指示する箇所を撮影し、簿冊に整理の上、監督官に1部提出するものとする。
(5) 本工事箇所以外の施設等には損傷を与えないよう十分注意して作業するものとし、万一、損傷を与えた場合には監督官へ速やかに報告するとともに、官側の指示に従い請負者の負担において原状復旧するものとする。
(6) 請負者は、関係法令の定めに従い石積事前調査を行うものとし、石積合有等が確認された場合は、監督官と協議するものとする。
(7) 本工事に際して疑義が生じた場合は、監督官と調整のうえ実施するものとする。
(8) 本工事にあつては、請負者側において事前に現地を実測確認するとともに、見栄え良く施工するものとする。
(9) 本仕様書・図面に記載なき事項についても、取り合い以上及び技術上当然施工すべき事項については、請負者の責任において実施すること。
(10) 本工事に際して施工箇所以外の施設への立入りについては、監督官の指示に従うとともに、その他、制限事項は駐屯地の諸規則に従うものとする。また、喫煙については指定された場所にて行うものとする。
(11) 作業の安全には十分に留意し、必要に応じて危険防止のための措置を講ずると共に、ことに作業員に注意喚起し、火災予防・安全管理を徹底させるものとする。
(12) 本工事で生じた発生材のうち、監督官が指示する鉄屑等については、種別毎に整理したうえ、指定場所（駐屯地内）へ搬入し、所定の調書と共に官側へ引継ぐものとする。その他の発生材は請負者の責任において全て構外に搬出し、関係法令等に従い適正に処分するものとする。
(13) 本工事に際しては原則として電気・水は官給しない。使用する場合はあらかじめ監督官と調整の上、請負者側において使用量が確定できる処置を実施し、その使用料金を徴収するものとする。
- 5 特記事項
ア 建築工事
イ 金庫工事
ウ 本工事に使用する天井、壁下地材は、JIS A 6517（建築用鋼製下地材（壁・天井））の規格品によるものとする。
エ 壁下地材のスタッド、ランナ等の種類は65形及び90形とし、スタッドの間隔は300mm程度とする。

- (4) 天井下地材の野縁等は19形とし、野縁受け、吊りボルト及びインサートの間隔は900mm程度とし周辺部は端から150mm以内とする。また、インサートは、鋼製とし、防錆処理されたものとする。

イ 内装工事

- (7) 本工事に使用するビニル床シートはJIS A 5705Iに基づき、種類の記号はFS、厚さ2.0mmとする。
- (4) 本工事に使用するビニル幅木は、厚さ1.5mm以上、高さ100mmとする。
- (4) 本工事に使用するビニルシート用接着剤はJIS A 5530に基づき、種別はゴム系ラテックス形とし、ホルムアルデヒド放射量はF☆☆☆☆とする。
- (2) 本工事に使用するボード等は下表によるものとする。

種 類	JISの記号等	規格等	使用区分
けい酸カルシウム板	0.8FK、1.0FK	4472（無石綿）	洗濯室、乾燥室内壁
ジーゾング石こうボード	GB-S		洗濯室、乾燥室天井
石こうボード	GB-L		隣室倉庫内壁

- (4) 石こうボードの目地処理は下表によるものとする。

目地処理の種類	石こうボードのエッジの種類	目地処理の有無	適用範囲
突付け工法	ペメルエッジ	無	壁石こうボード
目塗り工法	スクエアエッジ		ジーゾングボード

- (4) 天井及び壁ボードの張付けに際しては、目地通りよく、不陸、目違い等のないよう施工するものとする。

ウ 左官工事

- (7) 本工事に使用する仕上げ塗材はJIS A 6909Iによるものとし、塗材のホルムアルデヒド放射量はF☆☆☆☆とする。
- (4) 本工事に使用する仕上げ塗材の種類、仕上げ材の形状及び工法は下表によるものとする。

種 類	呼び名	仕上げの形状	工 法	備 考
複層仕上塗材	複層塗材E	ゆず肌状	ローラー塗り	上塗材：耐候形3種 溶媒：水系 樹脂：700系 外観：つやあり

- (4) 仕上塗材の塗回数及び所要量等は、仕上塗材の製造所の指定によるものとする。

エ 塗装工事

- (7) 塗替え箇所の下地調整は下表によるものとする。

既存面の区分	種 別	既存面の区分	種 別
木部の下地調整	RB種	モルタル面の下地調整	RB種

- (4) 新規塗装箇所の素地調整は下表によるものとする。

モルタル面	ケイ酸カルシウム板の素地調整	種 別	塗装面の区分	種 別
		RB種	石こうボード面	RB種

- (4) 本工事に使用する塗料はJIS適合品又はJIS等規格に準じたものとする。
- (2) 木部の合成樹脂調合ペイント塗りの種別はB種とする。

件 名	健康130号建物内部改修工事	図 面 番 号	2/14
図 名	仕様書	作成年月日	R7.4.25
所 属	陸上自衛隊健康駐屯地業務隊管理科		

(4) エルタル及びビロード面等の仕上塗装の種類は下表によるものとする。

記号	種類	塗装面	種別
M40	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	柱断面(屋内) ラングラーボード面(屋内) 45度傾斜板面(屋内)	日種
EP	合成樹脂エポキシ樹脂塗	柱断面	日種

オ ユニット工事

(7) 本工事に使用するアルミバーテイクソンの仕様は下表によるものとする。

区分	名称	材質・表面材	備考
骨材	天井レール/床レール	アルミ押出形材 (7桁1桁処理仕上)	50mm角方立 パネル見込: 32mm
	方立/巾木	アルミ押出形材 (7桁1桁処理仕上)	
	天井上枠/上枠	アルミ押出形材 (7桁1桁処理仕上)	
パネル	コーナーカバー	アルミ押出形材 (7桁1桁処理仕上)	ハンガー引き戸 (7桁1桁付) 付属品 エアダンパ、カムレール ガイドローラ 引き棒×2 ドア見込: 40mm
	表面材	亜鉛メッキ鋼板 (焼付塗装仕上)	
	芯材	ペーパーコア	
ドア	表面材	亜鉛メッキ鋼板 (焼付塗装仕上)	ハンガー引き戸 (7桁1桁付) 付属品 エアダンパ、カムレール ガイドローラ 引き棒×2 ドア見込: 40mm
	芯材	ペーパーコア	
	ドア上枠	アルミ押出形材 (7桁1桁処理仕上)	
	ドア点検カバー	アルミ押出形材 (7桁1桁処理仕上)	

(4) 本工事に使用する階段滑り止めの仕様は下表によるものとする。

材 質	幅 (mm)	取付工法	端部フラットエンド
ステンレス製 (ビニル付入り)	35程度	接着工法	無し

(2) 電気設備工事

ア 電灯、コンセント設備工事

- (7) 本工事に使用するクーリング線は、600V用、リジッド絶縁絶縁耐燃性、リジッドケーブル平形 (JIS C 3605) とする。
 - (4) 本工事に使用する電線等は、600V耐燃性、リジッド絶縁電線 (JIS C 3612) とする。
 - (4) 壁面露出部の電線保護材は、特に明記しない限り、1種金属線びととする。
 - (1) コンセント等配線器具は大角形とし、プレートは特に明記しない限り合成樹脂製とする。
 - (4) 照明器具の光源は、昼白色相当を原則とする。
 - (4) 照明器具の取り付けは、明記しない限りの9mmのボルトにて堅固に固定するものとする。
 - (4) 各種器具設置後は機能点検及び絶縁抵抗試験を行い、試験結果報告書を監督官に提出するものとする。
- イ 機械設備工事
- ア 配管工事
- (7) 本工事に使用する配管材料は下表によるものとする。

配管名	使用 管 材	接合方法
給水管	保温材付架橋ポリエチレン管 (JIS K 6789)	メカニカル接合
排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741)	接着接合
排気ダクト	アルミニウムシールドダクト	

(4) 給水管等の配管に際しては、固定金物等を用いて堅固に支持するものとし、配管後、漏れ等がないよう十分留意して施工するものとする。

イ 換気設備工事

- (7) 本工事に使用する換気設備のフアン形式は、天井取付形換気扇とする。
- (4) 換気扇用フードは、メーカー標準のステンレス製 (SUSS04同等以上) の深型で塗装品とし、ガリ付とする。
- (4) 換気扇取付け後は、機能点検を実施するものとする。
- (1) 本工事に使用する換気扇等器具は、事前に承認図を提出のうえ、監督官の承諾を受けるものとする。

(4) 土木工事

ア 屋外給水管工事

- (7) 本工事に使用する給水管は、水道用ポリエチレン二層管 (JIS K 6782) の規格品とする。
- (4) 管を埋め戻す場合は、地表から150mm程度の深さに埋設表示用アルミ又はビニル等のテープを埋設するものとする。
- (4) 管の敷設は、管内部を十分清掃し、中心線及び高低を確定して移動が生じないように行うものとする。
- (1) 屋外埋設管の分岐及び曲がり部には、地中埋設標を設置するものとする。
- (4) 管路敷設に際しては、漏水等の無いことを確認後、埋戻し作業を行うものとする。
- (4) 弁等の据付に際しては、正確に芯出しを行い、堅固に据え付けるものとする。
- (4) 埋設管のうち汚水管と隣接する箇所については、ゴムシート (塩ビ系軟質シート) による保護巻の処置を行うものとする。

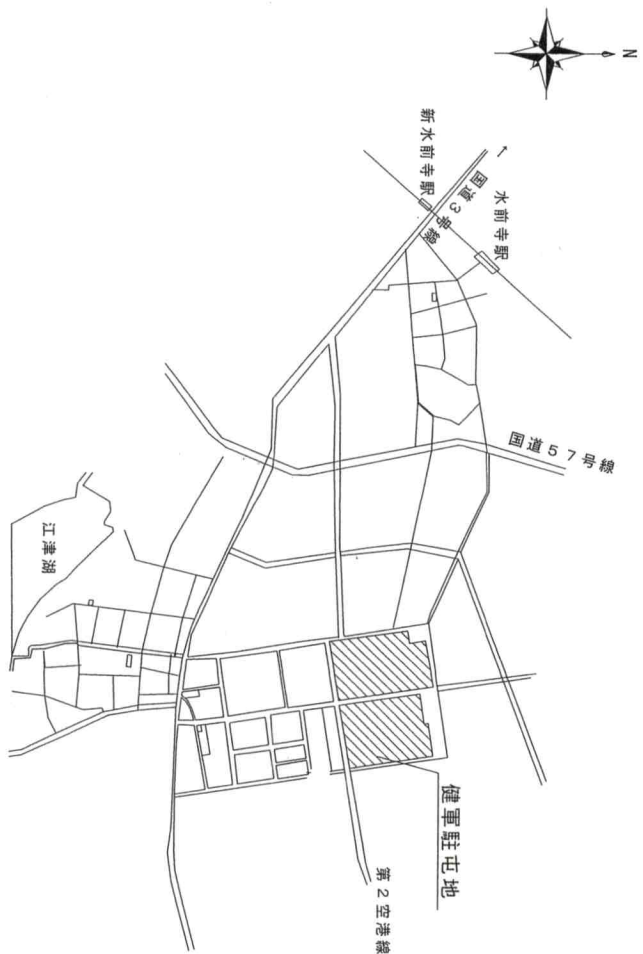
イ 屋外排水工事

- (7) 本工事に使用する排水管は、硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) の規格品とする。
- (4) 排水管の布設にあたり、所定の基礎を施した後に中心線、勾配及び管底高を保ち、かつ、漏水、不陸及び偏心等が生じないように施工するものとする。
- (4) 排水管路に使用する接合材は、塩ビ製小口径排水マスを使用するものとし、据付に際しては、沈下や漏水等の無いよう入念に施工するものとする。
- (1) 排水管継手は硬質ポリ塩化ビニル管継手による冷間工法とし、継手は接着剤を用いるものとする。
- (4) 排水管の埋戻しに先立ち、排水に支障がないこと及び漏水の無いことを確認する。さらに、全ての系統が完了した後、通水試験を行うものとする。
- (5) その他
本工事は、令和7年8月末までに作業を完了させるものとする。また、施工の細部日程については、監督官と事前に調整し、監督官の指示に従うものとする。

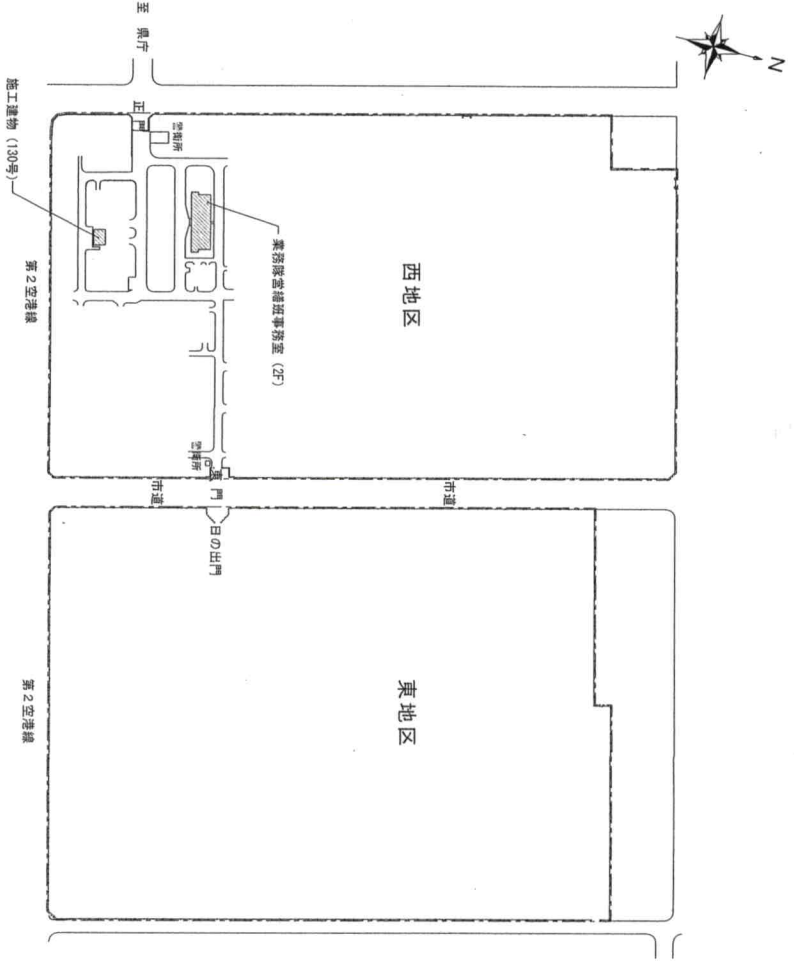
6 提出書類

監督官が指示する書類については、提出期限を遵守し監督官に提出するものとする。

件 名	健康130号建物内部改修工事	図面番号	3/14
図 名	仕様書 (2)	作成年月日	R7.4.25
所 属	陸上自衛隊健康駐屯地業務隊管理科		

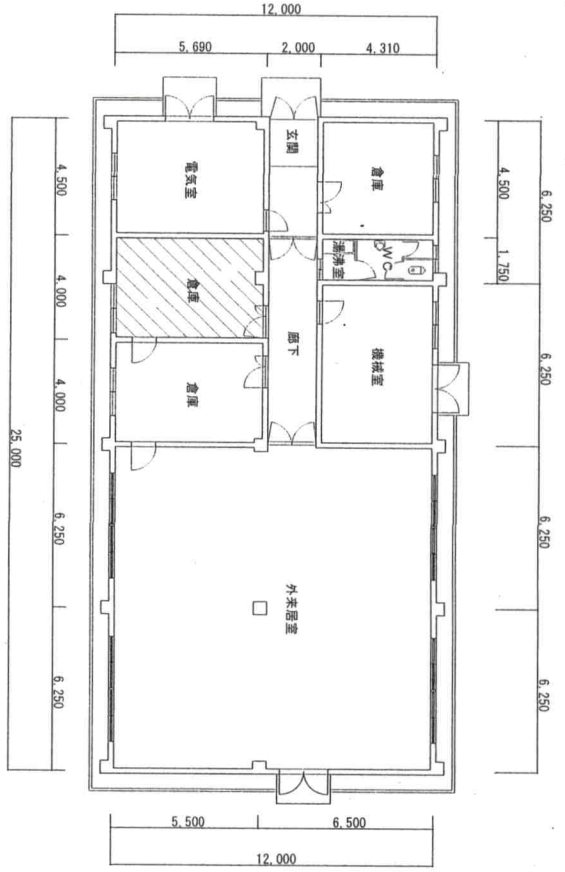
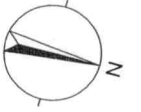



健軍駐屯地案内図 S=1/X



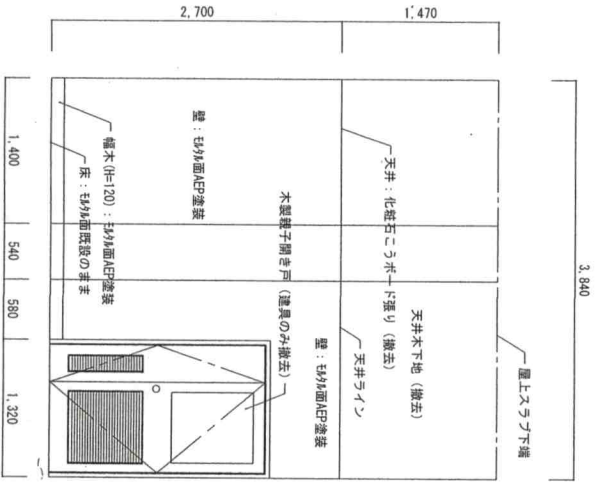
健軍駐屯地配置図 S=1/X

件名	健軍130号建物内部改修工事	図面番号	4/14
図名	案内図、配置図	作成年月日	R7.4.25
所属	陸上自衛隊健軍駐屯地業務隊管理科		

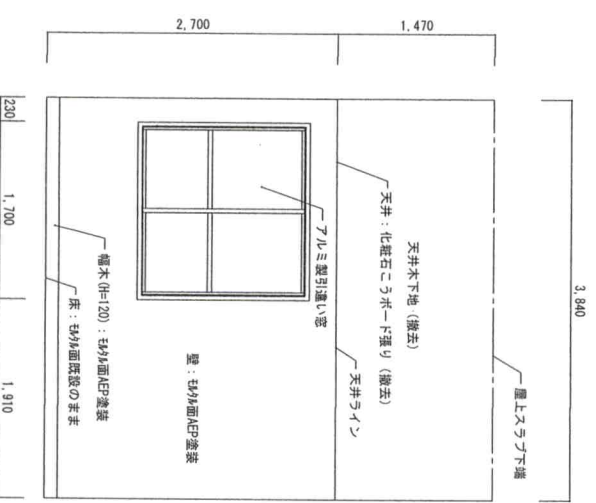


凡例
 : 施工場所を示す。

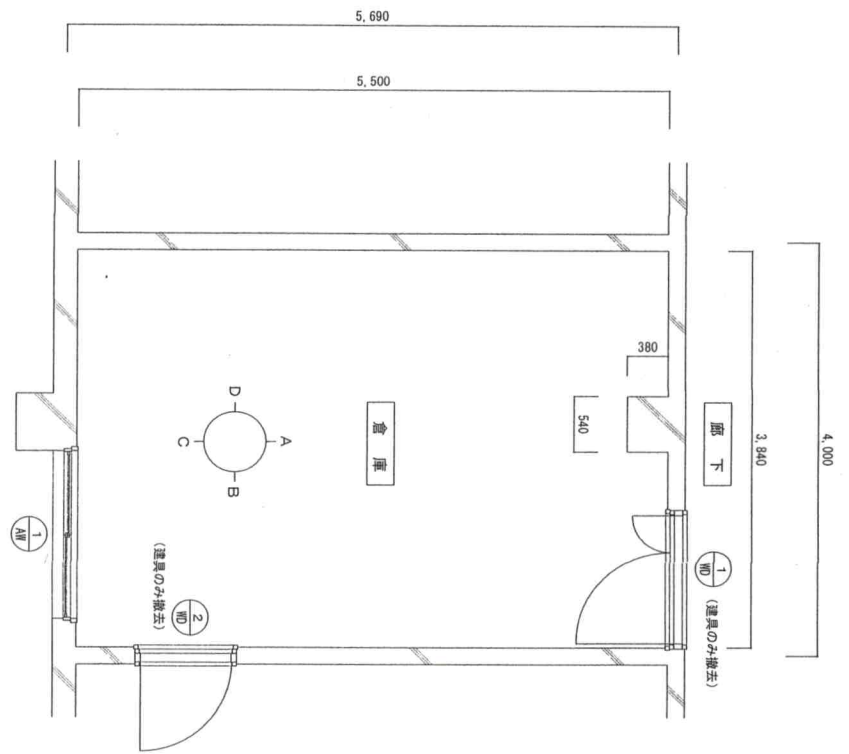
130号建物平面図 S=1/200



既設A面展開図 S=1/50

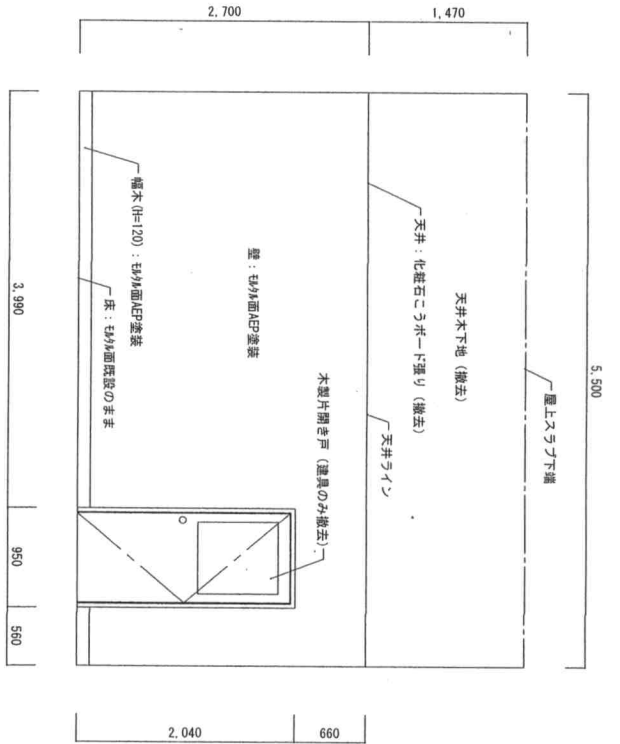


既設C面展開図 S=1/50

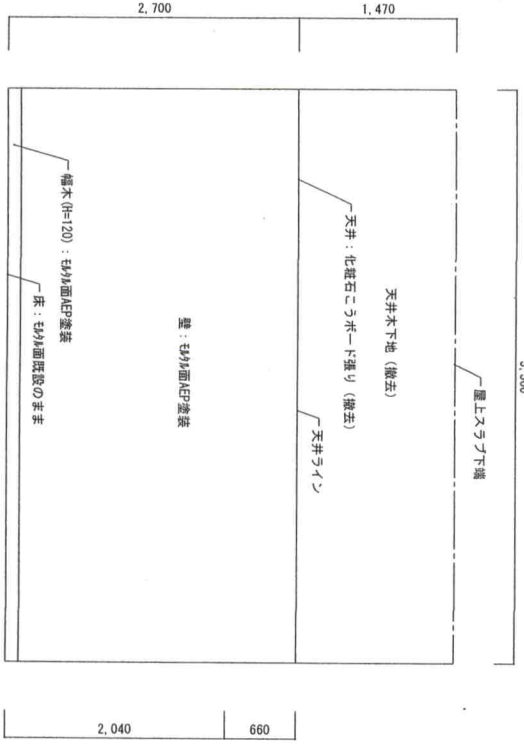


倉庫既設平面図 S=1/50

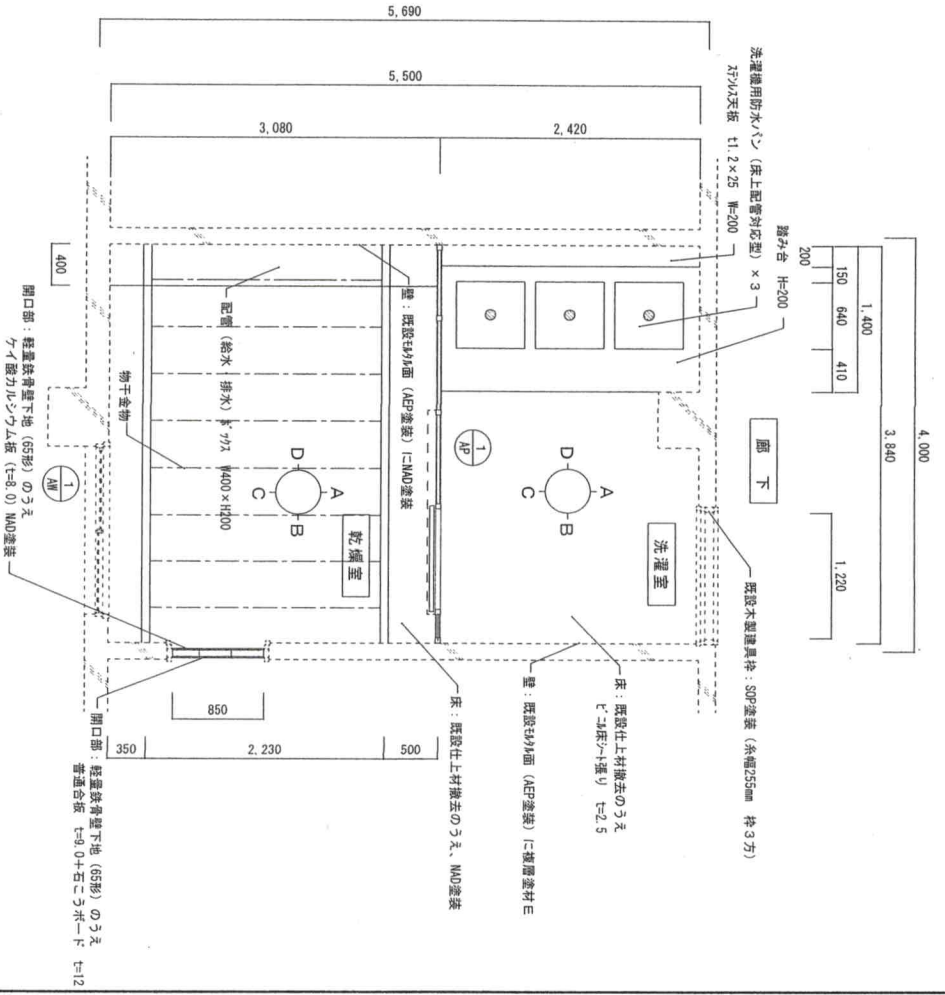
件名	健康130号建物内部改修工事	図面番号	5/14
図名	既設平面図、展開図	作成年月日	R7.4.25
所属	陸上自衛隊健康駐屯地業務隊管理科		



既設B面展開図 S=1/50

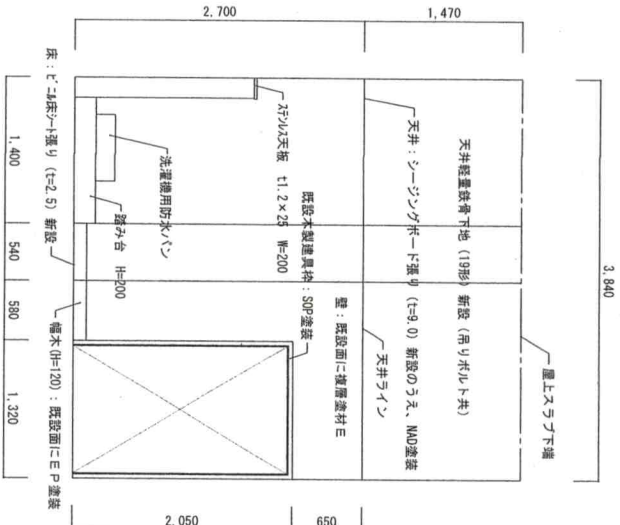


既設D面展開図 S=1/50

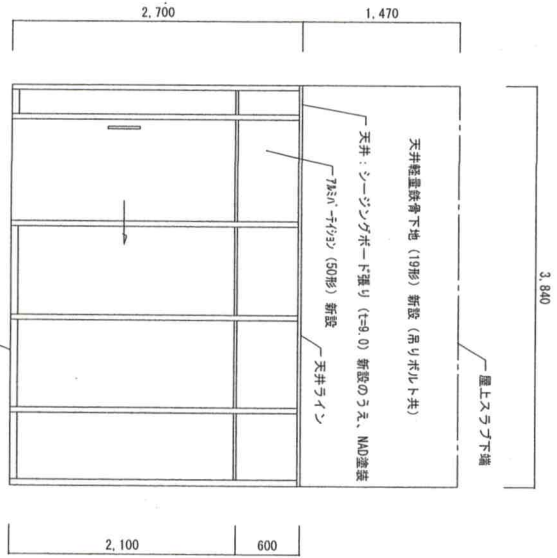


倉庫改修後平面図 S=1/50

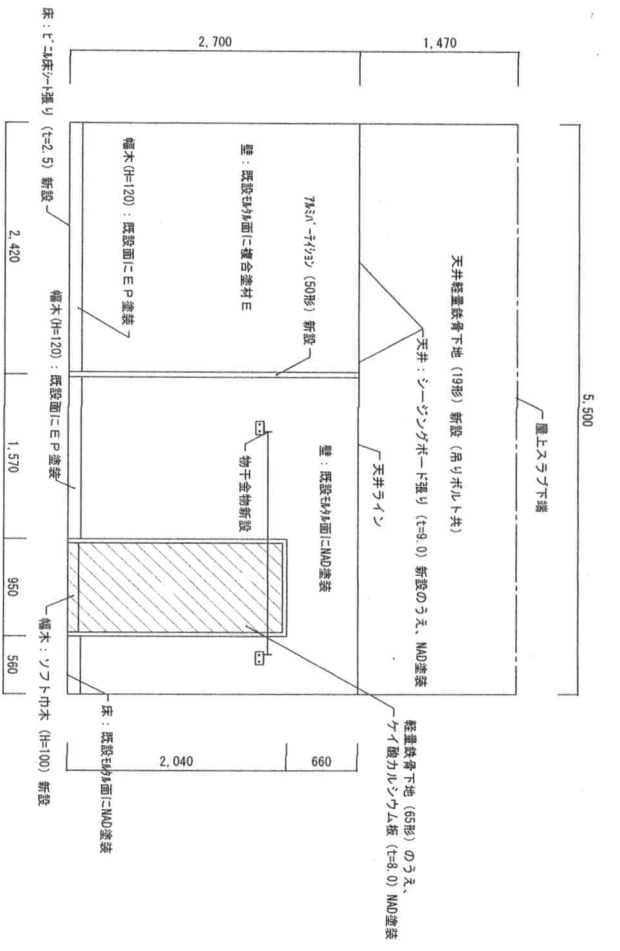
件名	健康130号建物内部改修工事	図面番号	6/14
図名	既設展開図(1)、改修後平面図	作成年月日	R7.4.25
所属	陸上自衛隊健康駐屯地業務隊管理科		



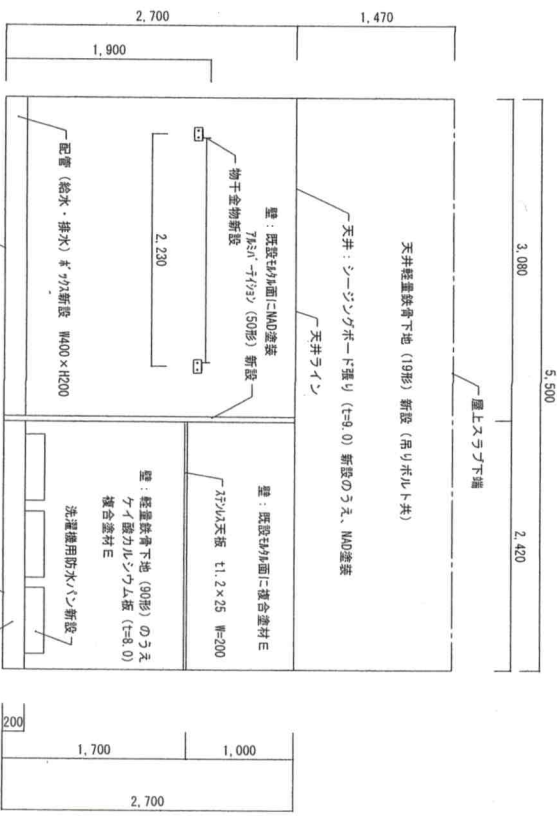
洗濯室改修後A面展開図 S=1/50



洗濯室改修後C面展開図 S=1/50

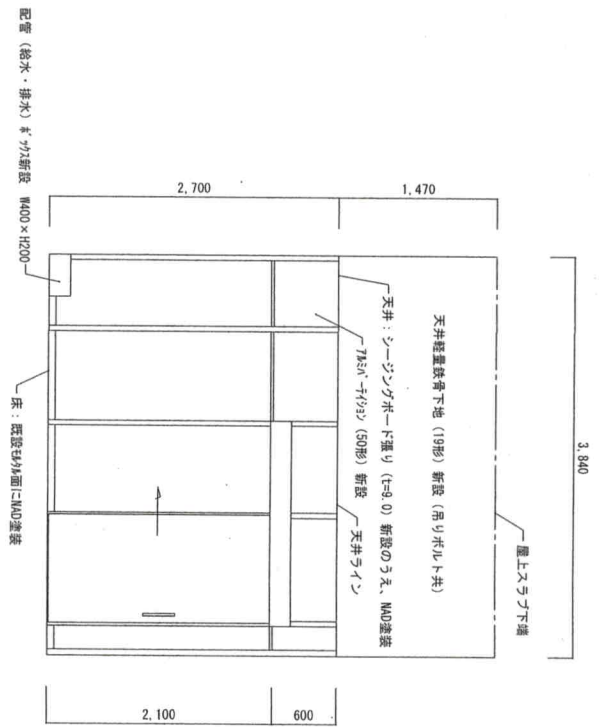


洗濯室・乾燥室改修後D面展開図 S=1/50

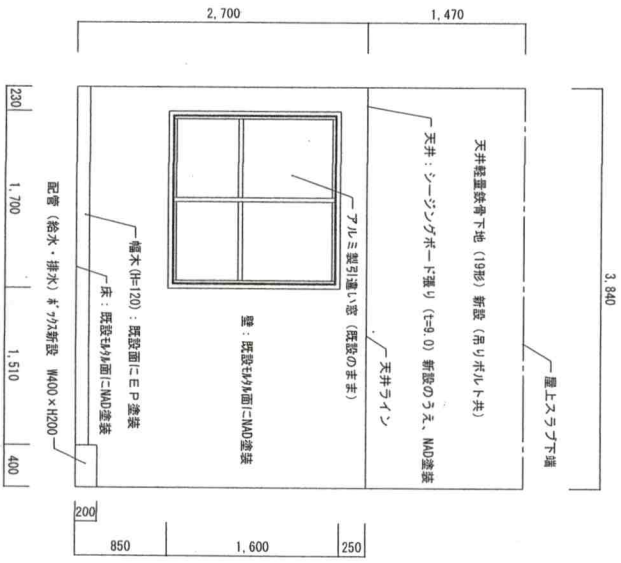


洗濯室・乾燥室改修後E面展開図 S=1/50

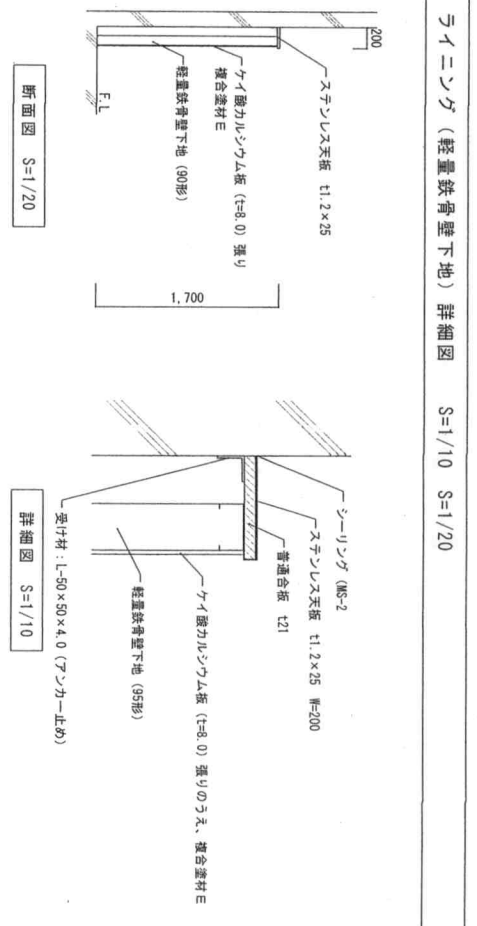
図名	洗濯室改修後展開図	図面番号	7/14
作成年月日	R7.4.25		
所属	陸上自衛隊健康駐屯地業務隊管理科		



乾燥室改修後A面展開図 S=1/50



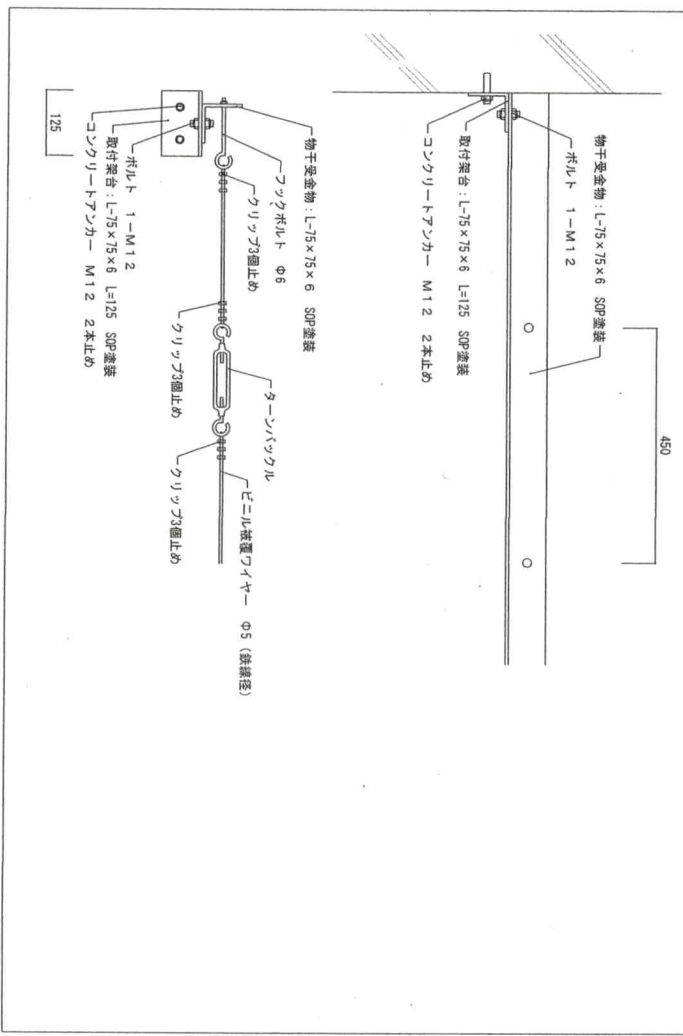
乾燥室改修後C面展開図 S=1/50



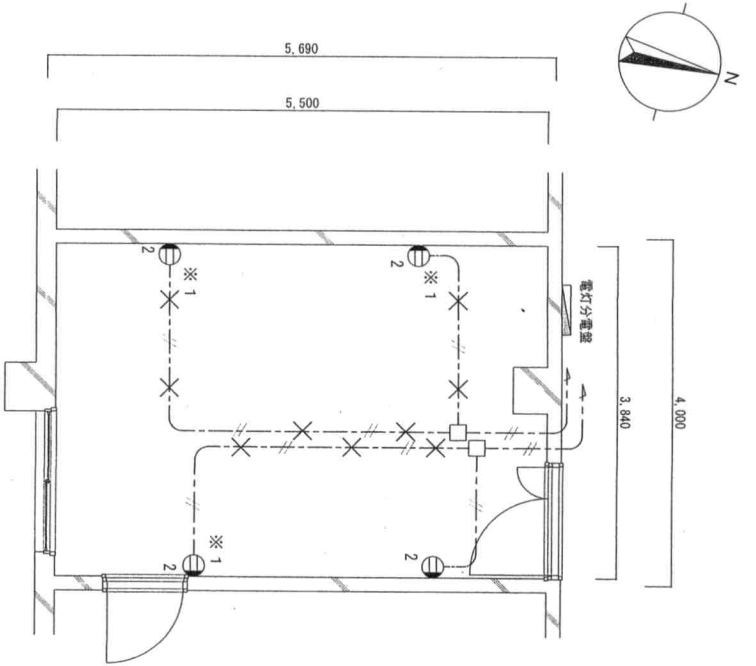
断面図 S=1/20

詳細図 S=1/10

物干金物詳細図 S=1/10



件名	健康130号建物内部改修工事	図面番号	8/14
図名	改修後展開図、詳細図	作成年月日	R7.4.25
所属	陸上自衛隊健康軍駐屯地業務務隊管理科		



既設倉庫コンセント設備平面図 S=1/60

特記事項

—×—: 既設配線撤去範囲を示す。

- ※1部の施工内容を示す。
- ・埋込コンセント撤去 (2P15A×2) 1個
- ・露出スイッチの撤去 (MM1-A型) 1個
- ・露出配管撤去 (MM1-A型) L=2.4m

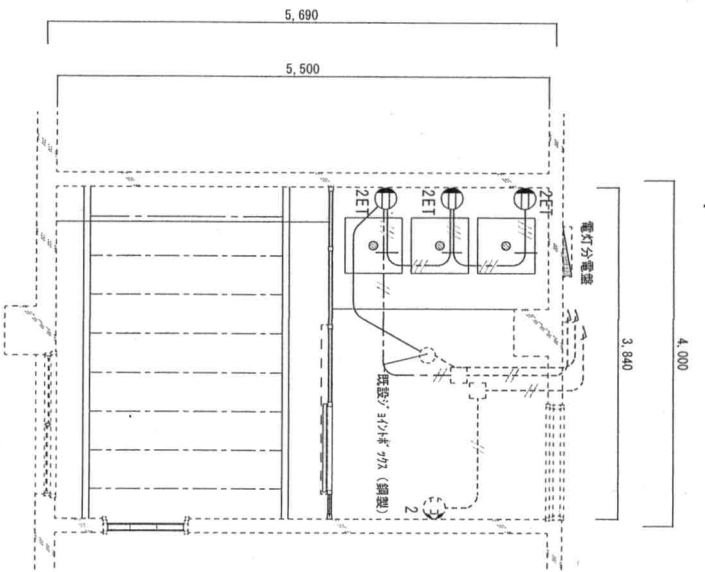
凡例 (既設)

特記なき配管配線は下記による。

— VVF 2.0-2C (天井内ころがし)

撤去数量
L=19.8m

記号	名称	仕様	備考
①2	埋込コンセント	2P15A×2	FL+300
□	ジョイントボックス	四角中速 (樹脂製)	天井内
■	電灯分電盤	W580×H925	FL+1510



改修後洗濯室・乾燥室コンセント設備平面図 S=1/60

特記事項

---×---で示した記号等は、既設配線配管及び器具等を示すものとする。

凡例 (改修後)

特記なき配管配線は下記による。

--- EM-EFF2.0×2 E2.0 (壁面露出 MM1-A)

--- EM-EFF2.0×2 E2.0 (天井内ころがし)

--- EM-EFF2.0×2 (天井内ころがし)

--- EM-IE2.0×1 (E) (天井内ころがし)

新設数量

L=2.7m

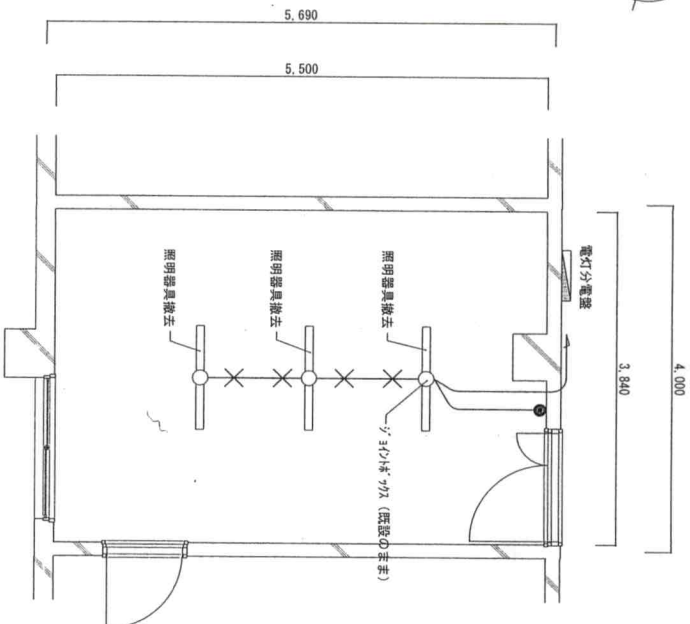
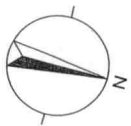
L=1.6m

L=2.6m

L=2.2m

記号	名称	仕様	備考
①2ET	埋込コンセント	2P15A×2+ET	FL+1800

件名	健康130号建物内部改修工事	図面番号	10/14
図名	コンセント設備平面図	作成年月日	R7.4.25
所属	陸上自衛隊健康駐屯地業務隊管理科		



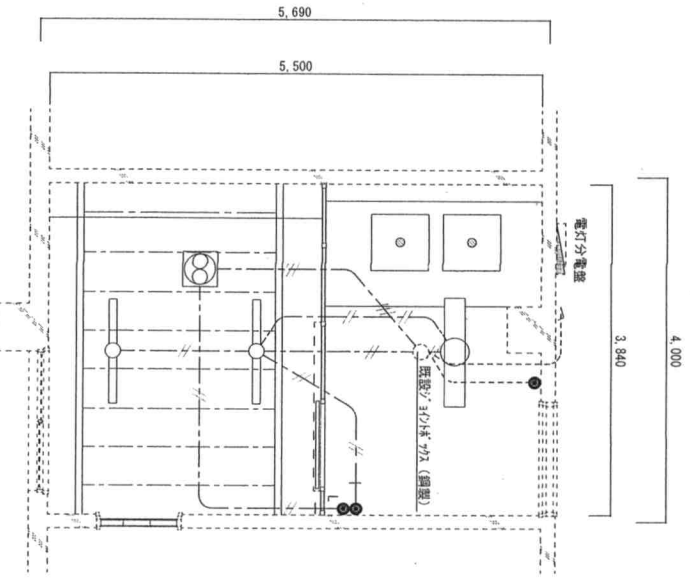
既設倉庫電灯設備平面図 S=1/60

特記事項
 一×一：既設配線撤去範囲を示す。

凡例 (既設)

特記なき配管配線は下記による。	撤去数量
— 1V 1.6×2 (E19) (天井内・隠ぺい部)	L=2.5m

記号	名称	仕様	備考
□	照明器具	40W×1灯 ホック又付	天井直付
⊙	埋込スイッチ	1P15A×1	FL+1300



改修後洗濯室・乾燥室電灯設備平面図 S=1/60

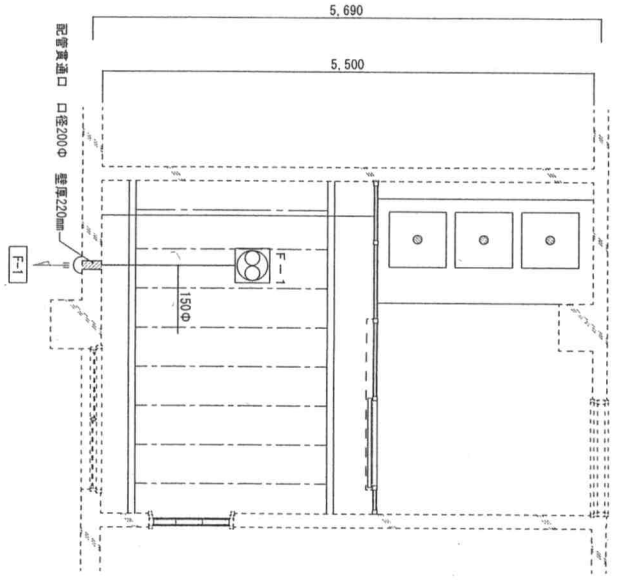
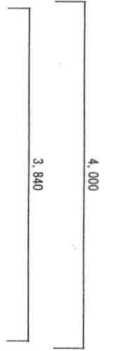
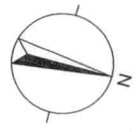
特記事項
 -----で示した記号等は、既設配線配管及び器具等を示す。

凡例 (改修後)

特記なき配管配線は下記による。	新設数量
— EM-EFF1.6×2 (MM1-A) (壁面露出部)	L=2.8m
--- EM-EFF1.6×2 (天井内ころがし)	L=1.3m
----- EM-EFF1.6×3 (天井内ころがし)	L=2.9m

記号	名称	仕様	備考
□	LED照明器具	Hf32形2灯相当 (5200lmが1灯) 天井直付	Hf32形XLX450DENP同等品以上
○	LED照明器具	Hf32形1灯相当 (2600lmが1灯) 本体：反射型、反射板：反射型製 高さ (60度) 用防塵型、天井直付	Hf32形XLX450DENP同等品以上
⊙	埋込スイッチ	1P15A×1 + 1P15A×1 (確認表示灯付)	FL+1300
⊗	換気扇	埋込形、低騒音形 SUS製深型7-F (が) 7灯付) 150φ	天井付

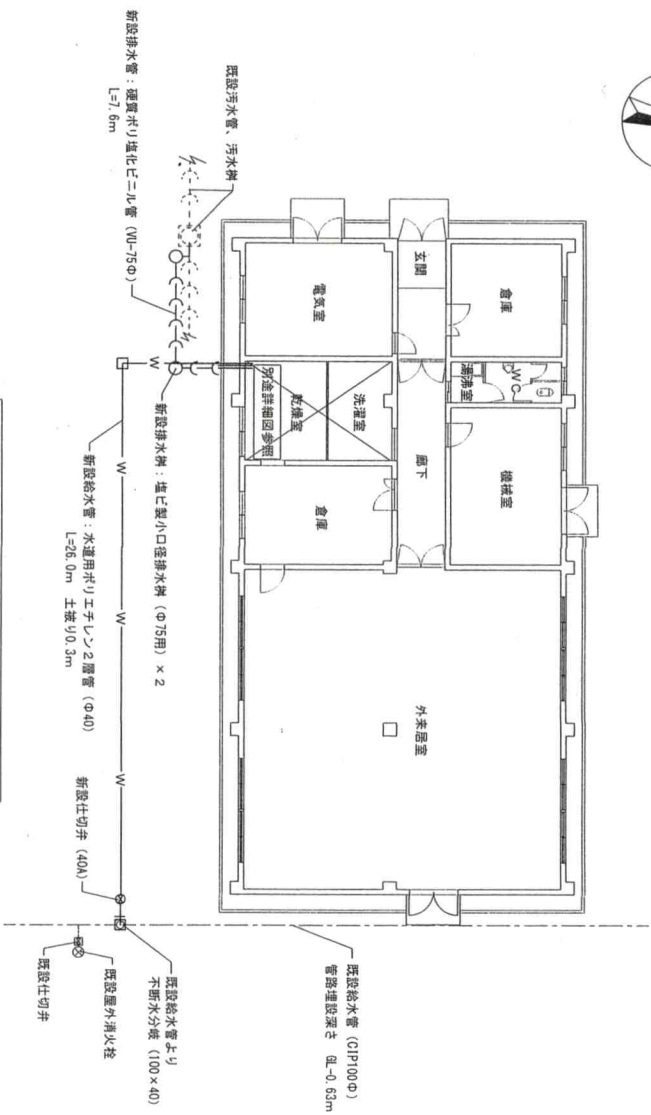
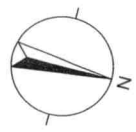
件名	健康130号建物内部改修工事	図面番号	11/14
図名	電灯設備平面図	作成年月日	R7.4.25
所属	陸上自衛隊健康駐屯地業務隊管理科		



改修後乾燥室換気設備平面図 S=1/60

記号	名称	仕様	電気容量			備考
			φ	V	W	
F-1	天井換気扇	任意形状 風量：42003/分 付属品 床形フード (SUS床下リ付) 1500φ	1	100	49	新設 WD-202014同等品以上
1500φ	排気ダクト	アルミリブキョウラルダクト 1500φ				新設 (L=1.7m)

凡例 (改修後)



改修後給水・排水計画平面図 S=1/200

凡例

記号	名称	仕様・規格	施工数量
---	既設給水管	CIP100φ	
---	新設給水管	水道用ポリエチレン2層管 φ40	L=26.0m
---	新設給水管保護巻	埋込系軟質シート、防食7-7、J'ラ'ク'※	L=2.6m
---	既設排水管	WV-150A	
---	新設排水管	暖房水リニ化ビニル管 WV-750φ	L=7.6m
---	新設仕切弁	青銅弁 40A 10Kねじ込み式	1箇所
---	新設小口径汚水排水	管径 75A用	2箇所
---	新設埋設標準柱	□ 80 H=300mm 3ヶ所1-1製	2箇所

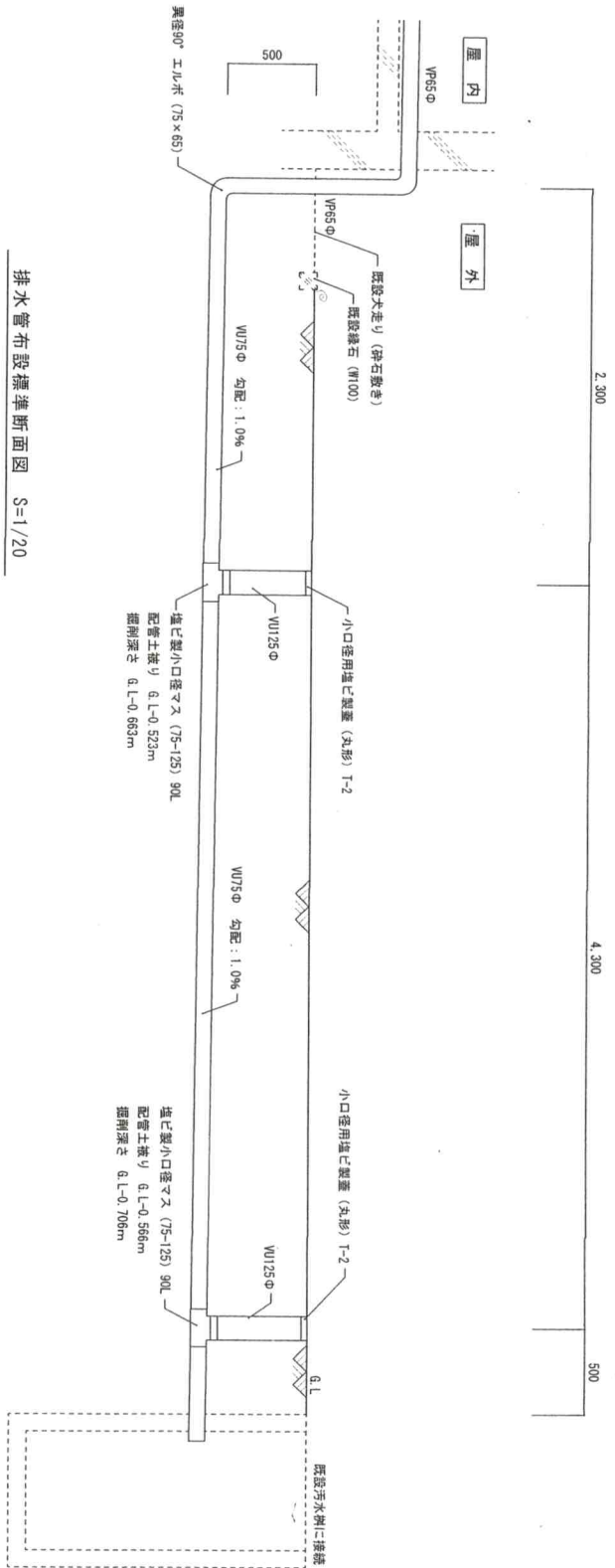
※埋込系軟質シート(厚2mm)を給水管に厚さ6mmになるよう3箇所巻きし、3ヶ所埋設部を防食7-7及びJ'ラ'ク'で固定す。

特記事項

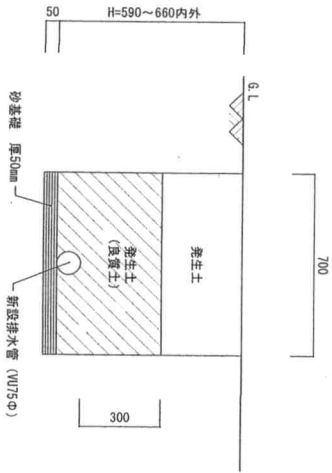
施工に先立ち、既設管の位置、管径及びその他の埋設物の有無を確認すること。

件名	健康130号建物内部改修工事	図面番号	12/14
図名	換気設備、給水・排水計画平面図	作成年月日	R7.4.25
所属	陸上自衛隊健康軍駐屯地業務隊管理科		

排水管路断面図 S=1/30



排水管布設標準断面図 S=1/20



件名	健康130号建物内部改修工事	図面番号	14/14
図名	排水管路断面図	作成年月日	R7.4.25
所属	陸上自衛隊健康駐屯地業務隊管理科		